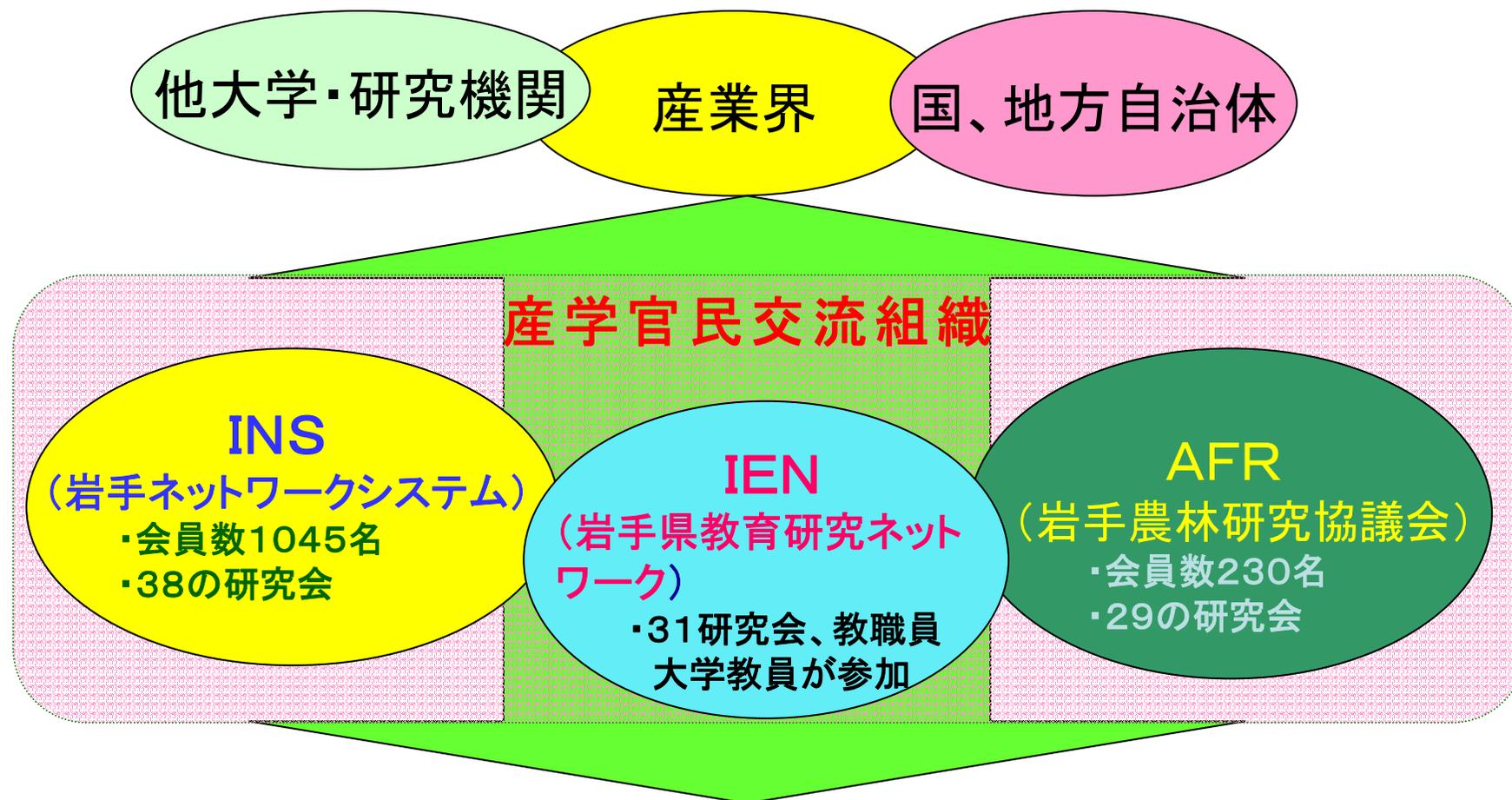


# 知的財産による地域の振興

平成18年3月9日

岩手大学地域連携推進センター  
教授 小野寺 純治

# 岩手大学の産学官連携手法

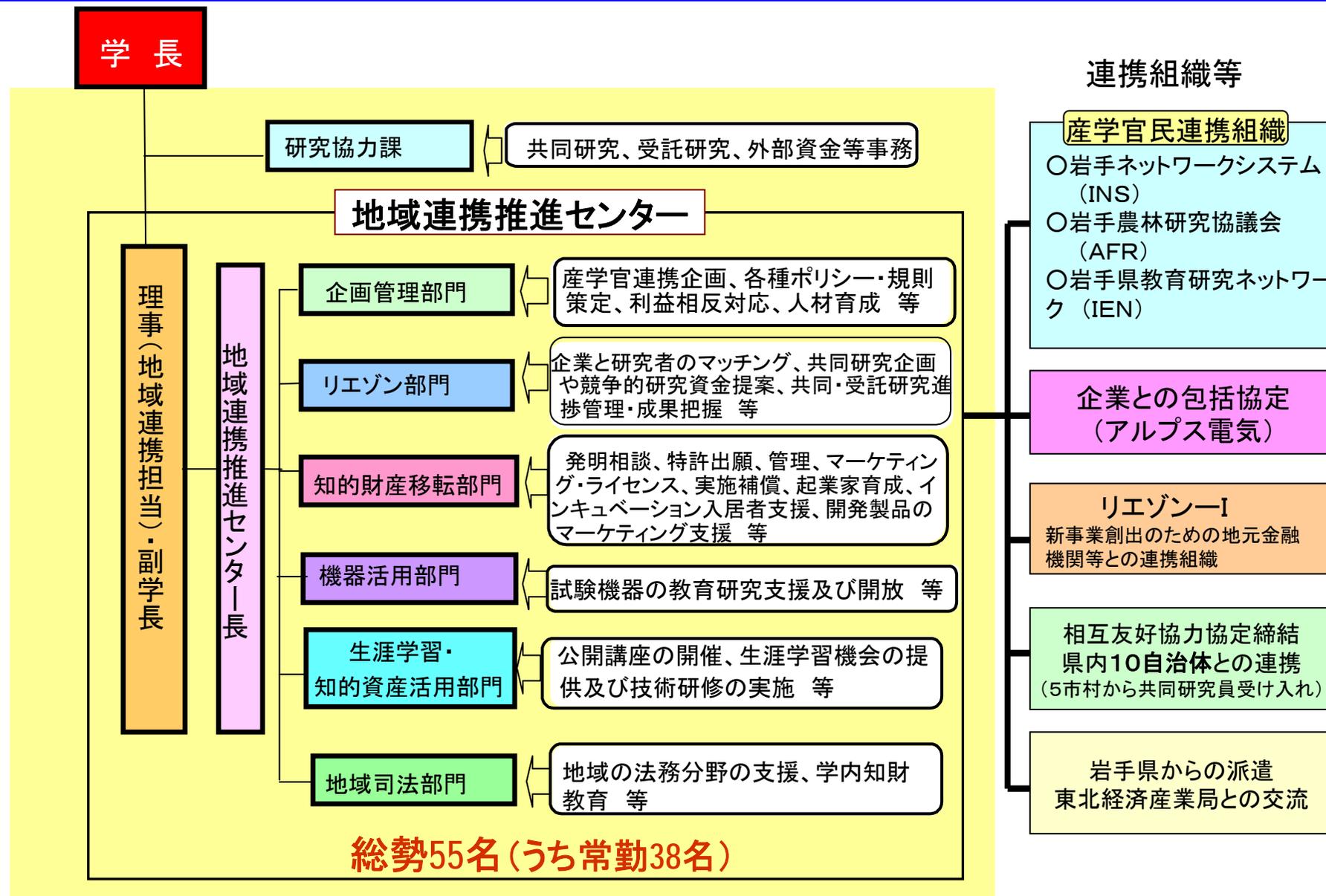


## 岩手大学

- ・スタッフ : 795名 (うち教員420名)
- ・学生 : 5,382名      ・大学院生:893名
- ・予算(H16) : 124億円 (うち外部研究資金12億円)

# 産学官連携のワンストップサービス

## 岩手大学地域連携推進センター



# 地域企業との意見・情報交換

岩手大学地域連携推進センターでは、INSや地域の産業支援機関、自治体等と連携して、地域企業の経営者を大学招いて意見交換を行う「イブニングフォーラム」や、大学教員が地域自治体職員とともに企業に出向いて企業の課題等を意見交換する「産学官交流会 in〇〇企業」などを開催し、企業のニーズを具体的に拾い上げる活動を実施している。

イブニング  
フォーラム



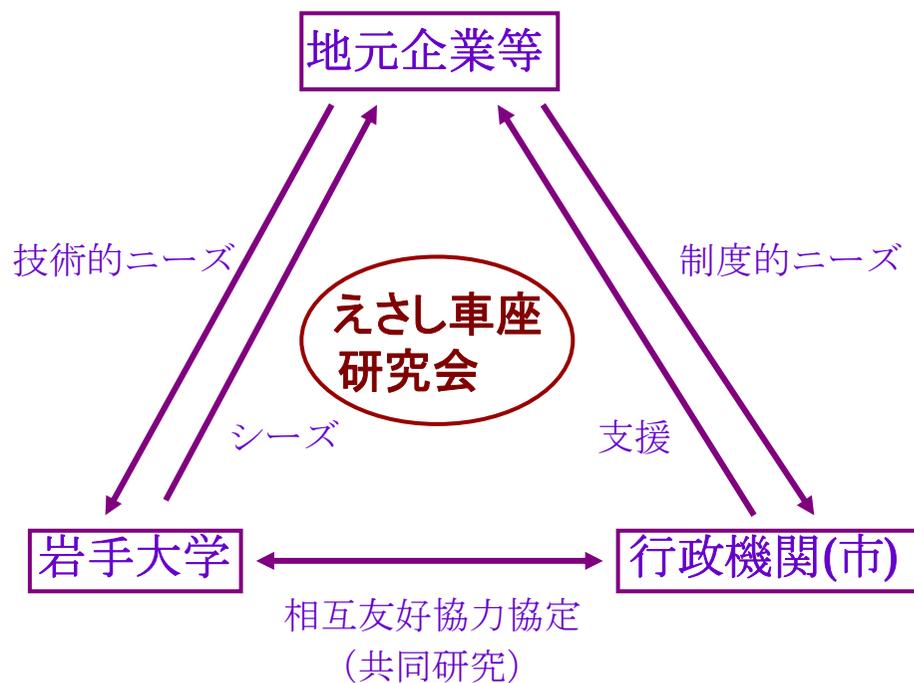
産学官交流会  
in本興製作所

# 自治体との共同研究例(江刺市)

地元企業・大学関係者・行政機関の定期的な  
情報交換の場



大学が持つ人的・知的財産を活用し、地域資源  
を活かした新産業創出や地域企業の技術支援



第1回「えさし車座研究会」  
「岩谷堂筆筒の新しいデザイン  
と新製品開発に関する研究」  
(2004.10.5)

# 研究開発事業のマネジメント

国立大学法人として、全国で初めて、文部科学省の競争的研究開発資金の管理法人（中核機関）として採択

事業名：都市エリア産学官連携促進事業

事業期間：H16～H18の3カ年 事業費：2億6千万円

## 事業推進体制

釜石市等からの共同  
研究員がマネジメント

岩手大学地域連携推進センター

都市エリア産学官連携促進事業会議

科学技術コーディネータ

研究統括

研究交流

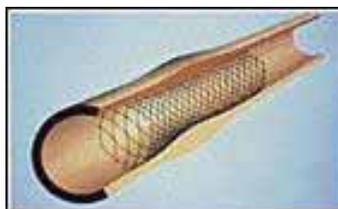
企業、県、関係市町村、  
産業支援機関等による  
事業化に向けた検討

情報の共有

共同研究

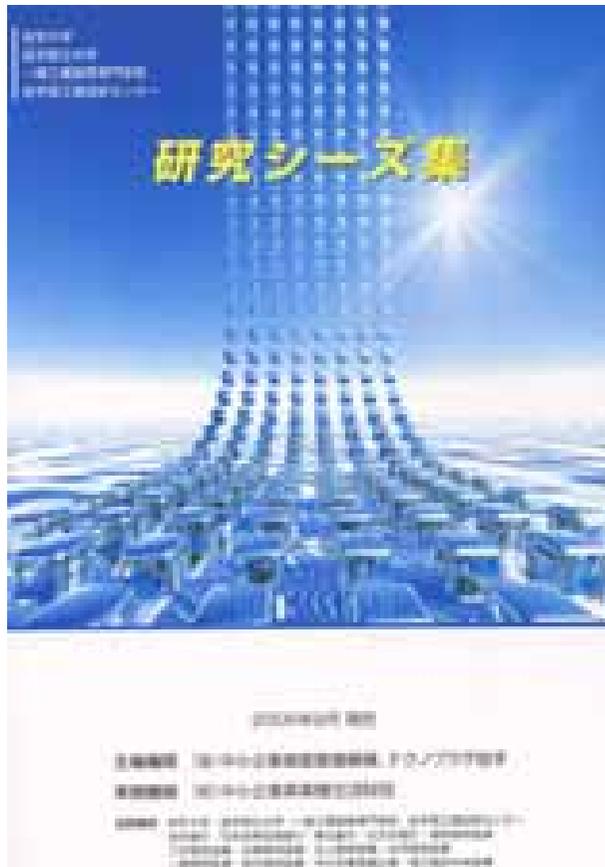
『高機能・高生体適合性  
系合金』Co-Cr-Mo系合  
金の創製

## 目指す製品群



# リエゾンI 研究開発交流会

【シーズ集】



【研究開発交流会】



- ・岩手大学等の県内研究機関の研究シーズ210件を冊子にとりまとめ
- ・地元金融機関の行員が研究シーズ集を持参し、企業等に紹介
- ・岩手銀行が共同研究企業に対し、200万円×10件＝2千万円／年を助成する「いわぎんフロンティアファンド」を創設

# 共同研究件数の内訳

(数字は研究件数)

年度		H12	H13	H14	H15	H16
民間企業		71	80	97	100	115
内 訳	県内企業	40	38	42	49	50
	県外企業	31	42	55	51	65
公的団体		16	17	21	17	20
地方自治体		3	6	15	22	23
その他		6	2	0	1	3
総計		92	105	133	140	161

# 競争的研究資金の推移

